

# エストゥアリ

# Estuary 036

～いしかり砂丘の風資料館だより～

## 展示資料のひみつ

リターンズ

7月12日から開催するテーマ展「頭骨」。  
その展示資料のひとつです。

キツネの頭骨と並べてみると、ちょっと似  
ていることがわかります。特に臼歯（奥歯）  
は尖った「山の字型」で、肉を切り裂くのに  
適した「食肉目」の特徴を示しています。イ  
ヌやキツネ、ネコ、クマなどの仲間です。ア  
ザラシやトドも同じグループであることがわ  
かります。

この標本の元は、石狩浜に漂着していた死  
骸です。見つけたときすでに頭頂部は頭蓋骨  
が露出していたのですが、それでも鼻や顎の  
まわり、口の中など、意外と肉は残ってい  
ました。もちろん頭の中身もずっしりと詰  
まっていた。本当は生モノは苦手なので  
すがガマンして、できるだけ肉を削いだり中  
身を掻き出したりしてから、煮たり薬品に浸  
けたりして、少しずつ骨格標本にしていきま  
した。

（志賀健司 しがけんじ）



上アゴの歯。  
右側が  
臼歯。

光の少ない水中でも  
よく見えるように  
眼球は大きい。



みぞには小魚の骨が  
いっぱい詰まっていた。  
死ぬ前に胃の内容物を  
吐き出した？

### ■ゴマフアザラシ（頭骨）

*Phoca largha*

食肉目 鱈脚亜目 アザラシ科

採集日 2009年5月

採集地 北海道石狩市石狩浜

全長 18.8cm

全幅 11.3cm

いとしのチョコ獣

チョコ獣(じゅう)は、チョコQ というゼンマイパネで動く車のおもちゃの仲間で、1983年から数年の間に、ゴジラなどの怪獣ものやゲゲゲの鬼太郎シリーズなどが販売されました。高さは5cm位で、中には前進しながら口から火花を出すものもありました。当時、学生だった私は面白いものを見つけたら友達と見せ合うということをやっていたので、迷わず4種類4個のチョコ獣を買いました。今はもう動きも悪く口から火花も出ないのに、懐かしい思い出と共に捨てるに捨てられず、箱の中に眠っていました。しかし、今回、思わぬ企画から日の目が当たることになりました。

資料館では、市民(石狩市民限定ではありません)の皆さんに、集めた資料や研究した成果を発表・展示していただける“市民交流ひろば”という

コーナーを設けていますが、あまり知られていないのか、残念ながら今までに数件の利用しかありません。そこで、もっとアピールするために職員やボランティアさんの個人的なお宝と称して、身近で大切にしているものを展示してみました。いとしのチョコ獣がアピールに貢献できたかは「？」ですが…。

もし、どなたかが珍名道具展みたいなのをしてくれたのなら、そのときは我が秘蔵っ子、“シュガーポットン”なるものを出したいと思っています。■

(倉 雅子 くらまさこ)



## 豊かな狩猟採集民

市内にある紅葉山49号遺跡からは、縄文時代のものと思われる国内最古の漁労施設が発見されています。紅葉山49号遺跡を残した人々は、この施設を利用して鮭などの魚を捕獲していたのでしょうか。縄文時代の人々はこのような漁労に加え、狩猟や植物採集などによって生活する狩猟採集民と考えられていました。しかし、近年の研究では縄文時代の終り頃に、簡単な農耕が行われていたとする考えが一般的です。

縄文時代の農耕が少しずつ明らかになるなか、よく分からないのが「なぜ農耕を始めたのか?」という問題です。皆さんの中には“狩猟採集民は貧しくて1日中食糧を探し歩いている”というイメージをお持ちの方も多いと思います。しかし、カダナのトロント大学教授で狩猟採集民研究の第一人者であるリチャード・リーさんの研究によると、アフリカのクン族の人たちは1週間に6~12時間(1日3~4時間)ほどしか食料探しを行わないそうです。さらに、彼らが1日に摂取するカロリー量は、アメリカの成人が1日に必要とするカロリー量とさほど変わらないことも明らかとなりました。現代の狩猟採集民は、農耕民が住めない砂漠や熱帯雨林など厳しい自然環境の中で生活しています。それにも関わらず、私達より遥かに少ない労働時間で十分な栄養を得ているの

です。縄文時代の人々は、現代より豊かな自然環境で生活していたと考えられます。そのような楽で豊かな生活を送っている時期に、農耕が伝わってきたとしてもそれを受け入れるでしょうか。もし皆さんが縄文人だったとしたら、狩猟採集生活を続けますか? それとも新しく伝わってきた農耕を選びますか? ■

(千田寛之 ちだひろゆき)



体験講座

### 化石のレプリカをつくる

アンモナイトや石狩産の貝化石から型取りして、本物そっくりのレプリカ(複製品)を作ります。

- 日時 8月15日(土) 13:00~17:00
- 場所 砂丘の風資料館
- 対象 小学4年生~大人
- 定員 10人(先着順)
- 費用 500円(材料費)
- 申込 8/1(土)~8/9(日)の間に電話で資料館(0133-62-3711)へ

7月～9月の講座・展示

テーマ展  
とうこつ

**頭骨**

イルカとシカの頭は、どこがどう違う？ それはなぜ？ いろいろな動物の頭の骨を見比べてみよう！

キツネ、イヌ、シカ（オスとメス）、ラット、ウミネコ、ゴマフアザラシ、トド、ネズミイルカ、カマイルカ、シャチ（幼獣）…などなどなど

■期間 7月12日（日）～9月13日（日）

■場所 いしかり砂丘の風資料館

※資料館の入館料（大人300円、中学生以下無料）が必要です。



7月  
開始

体験講座  
まかたま

**勾玉作り教室**

滑石（かっせき）という削りやすい石でオリジナル勾玉を作り、首飾りやストラップを作ってみませんか？

（※「いしかり砂丘の風の会」主催）

■日時 7月11日（土）10:00～12:30

■場所 砂丘の風資料館横（雨天時は館内）

■対象 小学生以上（低学年は保護者同伴で）

■定員 25人（先着順）

■費用 500円（材料費・保険料込）

■申込 7/1（水）～7/8（水）の間に電話で資料館（0133-62-3711）へ



オトナの体験講座  
あげどり

**揚鶏骨格標本化計画**

大人の知的好奇心のための講座！ フライドチキンの骨から、鳥の腕（翼）などの部分骨格標本を作ります。

■日時 9月12日（土）12:00～17:00

■場所 砂丘の風資料館

■対象 大人（高校生以上）

■定員 10人（先着順）

■費用 無料

■持ち物 フライドチキン（骨付き）1ピース

■申込 8/1（土）～9/6（日）の間に電話で資料館（0133-62-3711）へ

9月  
開催

体験講座

**古代人の土器づくり体験（2回）**

縄文人と同じ手法で土器を作ります。製作（粘土で形を作る）と野焼きの2回。

①製作

・日時 7月25日（土）09:30～16時頃

・場所 石狩市公民館

②野焼き

・日時 8月22日（土）09:30～16時頃

・場所 石狩紅葉山49号遺跡

■定員 20人（申込多数の際は抽選）

■費用 300円（材料費）

■申込 7/1（水）～7/7（火）の間に電話で資料館（0133-62-3711）へ

7月  
開催

## 黄金山 ピンネタイオルシペ

2007年7月、エスチュアリNo.28でお伝えしていましたが、浜益区の「黄金山（こがねやま）」が、名寄市「九度山（くとさん）」とともに、今年7月に国の名勝に指定されることになりました。名勝とは景観文化財とも言われ、わが国の芸術上や鑑賞上、価値の高い庭園、橋、峡谷、海浜、山岳が選定されます。今回の指定は、特に先住民族アイヌの物語や伝承、信仰などにかかわる場所、山、岩などの中で選定する、新たな視点からのものです。これまでアイヌ民族に関連する名勝は1件もありませんでしたが、近年の先住民族に対する世界の動向などから、目が向けられるようになったようです。

このため指定名称も「黄金山ピンネタイオルシペ」というように和名、アイヌ語名併記という形をとっています。「ピンネタイオルシペ」は「森の中にそびえる男の山」という意味です。ちなみにこの西側には「マチネタイオルシペ」（森のなかにそびえる女の山）の「摺鉢山（すりばちやま）」があり、夫婦山だといわれてきました。

あらためて書く必要はないかもしれませんが、アイヌ民族は13世紀ごろ成立し、今日まで北海道で暮らしていますが、その間、和人の移住、抗争、迫害、支配などにより、民族としての権利を奪われた歴史があります。今回の指定ははからずも先住民族の権利とも関連することから注目されます。

この山は「英雄叙事詩ユカラ」のなかでも代表的な

「クトネシリカ」（虎杖丸の曲・いたどりまるのきょく）に描かれる山と酷似しており、主人公ポイヤウンペのチャシ（砦）があった山だという伝承があります。浜益はこの他にもポイヤウンペ伝承が多い場所で、「クトネシリカ」など英雄ユカラが最初に生れた地ではないかと古くからいわれております。「クトネシリカ」は、本道の日本海沿岸からサハリンにいたる広い地域を舞台にした戦いの物語です。このなかでポイヤウンペは「石狩川の北のシヌタブカという地にある高杯を立てたような優美な山のチャシ（砦）に住む」と謡われており、この山の伝承が、こうした内容を下敷きにして生れたと考えられます。

このように「黄金山ピンネタイオルシペ」は叙事詩ユカラに関連しそれを象徴する存在であり、アイヌ文化の名勝としてふさわしい山ということができます。

（石橋孝夫 いしばしたかお）



### ■最近の「いしかり博物誌」（石狩市広報に連載中）

- ☞第100回：100回記念特集！増ページ（09年5月号）
- ☞第101回：黄金山ピンネタイオルシペ（09年7月号）

### 編集後記

テーマ展「頭骨」の準備でいろいろな動物の頭骨を触っていると、生きている時の外見はまったく違っていても、「一皮」むいてみると、たくさんの共通点があることに気づかされます。顎の骨、耳の骨、歯など、頭骨を構成している一つ一つの骨は同じだったりします。もちろん、ヒトも。みんな先祖は同じなんだな、と、標本から実感できます。（け）

## エスチュアリ No.36

いしかり砂丘の風資料館

**開館時間** 午前9時30分～午後5時00分  
**休館日** 毎週火曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始  
**入館料** 300円（中学生以下は無料）、  
 団体料金240円（15名以上）  
**交通** 中央バス札幌ターミナルより石狩行き乗車、  
 「石狩温泉」下車、徒歩1分  
 （石狩温泉「番屋の宿」向かい）

2009年7月1日発行

いしかり砂丘の風資料館  
 〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4  
 TEL/FAX: 0133-62-3711  
 bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp  
<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/>